

校長就任のご挨拶

新教育プロジェクトのもと、
これからの時代を切り拓く
自律し、自立した女性を育てます

このたび中学校高等学校の校長に就任しました杉本昌裕です。

中学校高等学校では、2016年4月より、新しい教育プロジェクトによる教育が始まりました。この節目の年に校長に就任し、その責任の重さを痛感、気持ちをお新たにしています。

新教育プロジェクトは、変化する時代の要請に応じて、本校が女子教育の学校としてどのような教育を展開し、どのような人材を育てていくのかを具現化するためのグランドデザインを策定することから始動しました。140年の歴史を踏まえながら、それを土台に教育課程をどう革新していくか、さまざまな角度から検討がなされた結果、2020年度からの大学入試制度の改革に対応し、生徒の

目標を実現するための「習熟度別クラス」の設置、現代社会が求める真の学力を育成する「学力プロジェクト」「人間力プロジェクト」として結実したのです。

新教育プロジェクトでは、進級目標に沿って2つの習熟度別クラスを作ったわけですが、本質的には学祖・跡見花嫁が目指した建学の精神を継承し、「自律し、自立した、しなやかな女性」を育成することに変わりはありません。このことを大前提に、現代の社会情勢に応じた教育を実践し、これからの社会を生き抜いていくために必要な表現力や問題発見・分析・解決能力、異文化理解力、コミュニケーション力といった「真の学力」を身に付けることを目標としています。

心の知能指数を高める 学力プロジェクト

こうした真の学力の習得を目指すのが「学力プロジェクト」です。私はこのプロジェクトで、単にIQを伸ばすための学力ではなく、「EQ」、すなわち他者の感情を理解し、自分の心を制御できる「心の知能指数」を高めることを目指したいと思っています。

これは、本物の芸術に触れたり、日本の歴史・文化の奥深さを理解したりすることを通じて、目と手と心を使って、何かを創造する力を養う「人間力プロジェクト」と相通するものがあるといえます。すなわち、学力プロジェクトと人間力プロジェクトは相関関係にあり、どちらかが欠けても、どちらかに偏って



跡見学園中学校高等学校校長

杉本 昌裕

も、真の学力育成にはつながりません。

そして、学力プロジェクトや人間力プロジェクトで身に付けた真の学力、人間力を武器に、自分の目標を実現し、社会で、世界で活躍していくために、キャリア教育にもより力を注いでいきます。確かなキャリア形成、職業観の育成のためには、自分の目で確かめ、心で感じて、実際に手を使って創り出すという経験が非常に重要です。その意味でも、今回の新教育プロジェクトで「5つの約束」のひとつに、「目と手と心と」の精神で、本物を知り、創造する力を付ける、としたことはとても意義深いと考えています。

この新教育プロジェクトを円滑に推進するために、校長として最大限努力していく所存です。